

担い手のライフサイクルに応じた支援

タイトル 新規就農者・後継者向け教育施設での講師対応

J A 名 鹿児島県信連（鹿児島県）

1 動機 (経緯)	これからの鹿児島県の農業を担っていく農業後継者に対し、農業技術だけではなく「企業経営者」として農業に従事してもらいたいという思いから、信連より新規就農者や後継者向けの教育施設（鹿児島県立農業大学校）に申し入れ、実現したものです。（平成 18 年度より継続中）
2 概要	<p>【年間講義数】平成 18 年度 6 時限，平成 19 年度 12 時限，平成 20 年度 48 時限 平成 21 年度 48 時限，平成 22 年度 12 時限，平成 23 年度 12 時限 平成 24 年度 12 時限，平成 25 年度 15 時限</p> <p>【受講者数】 2 年生 100 名程度（全学部）</p> <p>【講義内容】</p> <p>①農業情勢について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営農類型別（米，甘藷，野菜，果樹，花き，さとうきび，茶，葉たばこ，肉用牛，乳用牛，豚，採卵鶏，ブロイラー）に，足元の情勢（作付面積，収穫量），農業産出額，主要産地，今後の推進方向について <p>②農業経営の経営分析について</p> <p>「家族経営と法人経営の経営管理目標」，「複式簿記記帳から得られる財務諸表」，「貸借対照表，損益計算書の見方」，「農業経営費と生産費低減の方法」，「経営規模の拡大条件」，「農業経営の立て直し対策」，「経営診断」，「経営分析の主な指標」，「損益分岐点」</p> <p>③農業金融について</p> <p>「農業金融の体系（プロパー資金，制度資金）」，「借入を行う場合の資金使途（運転資金，設備資金，経営維持資金）」，「主な制度資金の種類，特徴，対象者，貸付金額，貸付利率等」，「J A バンク利子助成事業」，「借入申込を行う際のフローチャート」，「融資審査の考え方」</p> <p>④事例研究</p> <p>「貸借対照表，損益計算書の作成」，「仕訳」，「収益分析による改善策の検討」，「コスト分析」</p>
3 成果 (効果)	<p>新規就農者・後継者等が経営感覚を身につける動機づけになっているものと考えます。</p> <p>今後も，本件取組みを継続することにより，県内農業者の意識の底上げにつながる取組みと位置付けています。</p>
4 今後の 予定（課題）	<p>今後も継続した取り組みを進める方針です。</p> <p>なお，講義時間の問題もありますが，J A グループ全体の概要（単協，県連，全国連），なかでも単協・県連で行っている事業について講義を行い，受講生の J A グループに対する知識向上を図っていきたいと考えています。</p>